

飯土井神社神幸祭

10月11日～12日



神崎一山笠



神崎二山笠



神崎三山笠



神崎四山笠

鬼と天狗に囲まれて泣く子どもの声に沿道に響く。10月11日、飯土井神社を出発した御輿行列。稚児を先頭にして、赤鬼と青鬼があとに続く。「泣く子は強く育つ」といわれ、鬼が子どもの頭を竹の棒で軽く小突く習わしだ。こうして子どもたちの厄払いをしながら、御旅所までの「お下り」を行う。たどり着いた御旅所では、4基の山笠と地域の人びとが見守るなか、可憐な巫女が舞を厳かに奉納した。



一区山笠



上金田山笠



町部山笠



宝見山笠



六区山笠



平原山笠

獅子が舞い、稚児が舞い、巫女が舞う。秋晴れの10月18日、金田稲荷神社神幸祭初日。正午を過ぎた頃、囃子の音を響かせて、各地区で村回りを終えた山笠6基と、そろいの法被に身を包んだ人びとが稲荷神社前に集まってきた。5人の巫女による舞に続いて、金田一区伝統芸能保存会による獅子舞が奉納された。そして御輿が御旅所までの「お下り」につく。大勢の人が詰めかけた御旅所でも巫女、獅子、稚児が舞う。翌日は「お上り」が同じように執り行われた。



10月18日～19日

稲荷神社神幸祭

